

別記

第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	令和元年 7月30日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601番地	学校法人同志社 理事長 八田 英二
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	KES・環境マネジメントシステム・スタンダード（ステップ1）
適 用 範 囲	同志社大学今出川校地、同志社大学京田辺校地
導 入 年 月 日	平成31年3月1日
認 証 番 号	KES1-1482, KES1-1483
基 本 方 針	平成30年9月に同志社大学において「環境宣言」を制定し、環境管理重点テーマとして、エネルギー使用量の削減、リサイクルの推進、環境にかかわる啓発活動を掲げて、活動に取り組んでいる。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	環境改善目標（中長期） (1)省エネルギー：エネルギー使用量の削減（二酸化炭素排出量換算）3%減 (2)省資源：古紙回収率の向上（古紙リサイクル量/一般廃棄物排出量）3%pt（今出川）・5%pt（京田辺）向上 (3)啓発活動：学生への環境に係わる取組の周知・要請 計年7300人
目標を達成するための取組の内容	(1)省エネルギー：照明のLED化、空調設備の更新、エアコン温度・運転の適正管理、不必要な電灯の消灯 (2)省資源：ゴミ箱への分別方法掲示、分別の徹底、シュレッダーの活用、校地内ゴミ箱の拠点化 (3)啓発活動：掲示・リーフレット配付
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー、省資源、啓発活動ともに、取組は概ね計画どおり進捗している。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	省エネルギー、省資源については、外気温や台風など気象状況の影響を受けたものの、目標に対し概ね計画通り推移している。啓蒙活動については、今期は、特に省資源に関する周知・要請に注力し、京田辺校地では屋外ゴミ箱の拠点化等を行う（今出川校地は済）など、精力的に活動を行った。
事業活動に係る法令の遵守の状況	課題となっていた環境マネジメントの導入を行い、法令は遵守できている状況である。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	平成30年9月に環境宣言を制定し、環境マネジメント活動を開始し、1年のサイクルを迎えていないため、現在のところ、環境マネジメントシステムの見直しは必要ないと考えている。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。